

## イスノキ群生林



よみ	いすのきぐんせいりん
指定	市指定天然記念物
所在地	御前崎市白羽
所有者	個人
指定日	平成3年11月20日

### 解説

イスノキ群生林は、白羽神社の北側の個人の庭に十数本群生しています。昭和43年(1968)に行われた現地調査の時には、26本ほど群生していたそうです。

イスノキは、本州西南部・四国・九州・琉球に産する常緑高木で、屋敷林、防風林のほか生垣にも用いられ、材質が強く国産材の中では最強に属します。シロアリに食害されにくいので、床柱、床板、楽器など特殊な用途があり、樹皮からはトリモチも造られます。開花期の樹姿は優美で紅色花は観賞用として見事です。

静岡県はイスノキの生育の北限といわれており、自生と断定できるものは発見されていません。県内では一箇所に十数本も群生しているのはここだけであり、貴重な存在であるといえます。

